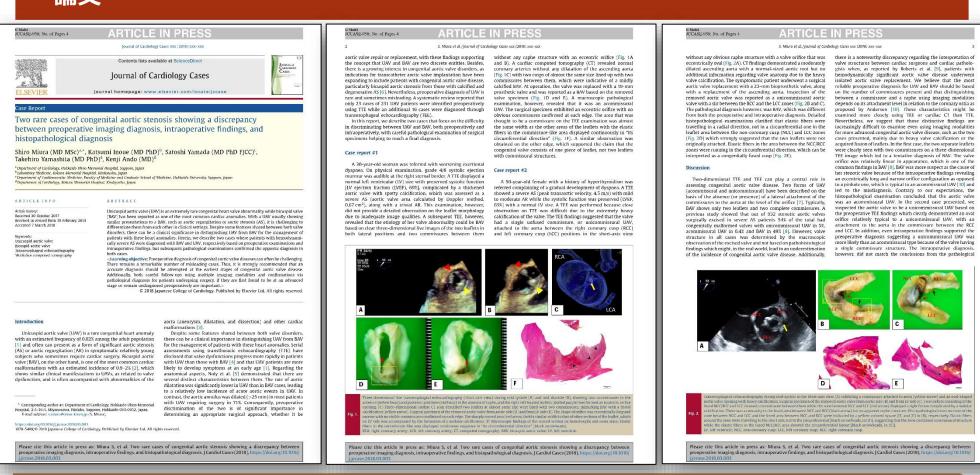
Two rare cases of congenital aortic stenosis showing a discrepancy between preoperative imaging diagnosis, intraoperative findings, and histopathological diagnosis

Shiro Miura (MD MSc), Katsumi Inoue (MD PhD), Satoshi Yamada (MD PhD FJCC), Takehiro Yamashita (MD PhD), Kenji Ando (MD)

論文紹介

- 当院では心臓弁膜症に対する外科的治療においても道内有数の症例数を誇ります。
- 外科的弁置換術を行う症例では、弁劣化や弁不全の原因を術前の画像診断や術後の病理診断にて確認を行い、術後の管理や臨床的追跡に役立てています。
- ・本論文は、臨床的に異なる経過を多と辿ることがある先天性二尖弁と一尖弁の大動脈弁狭窄症の患者様の術前診断が非常に難しく、術後の病理診断にて最終確定し、それを今後の治療方針に反映したという2症例報告です。当院循環器内科 三浦史郎医師、 山下武廣医師、北海道大学病院循環器内科 山田聡医師らとの共著で出版されました。

論文



医師紹介



【現職】 社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院 医師

【経歴】 九州大学医学部医学科 社会保険小倉記念病院循環器科勤務 英国サウザンプトン大学 (修士号:医療統計学)

【専門医等】

日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 Japanese Board of Perioperative Transesophageal Echocardiography (JB-POT) 認定医 日本心血管インターベンション治療学会CVIT 認定医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 植込み型除細動器 (ICD) ペーシングによる心不全治療 (CRT) 研修修了



三浦 史郎 医師 (みうら しろう)